



平成 19 年度農林水産物等海外販路創出・拡大委託事業
(海外展示・商談活動 (ドイツ (IPM Essen 2008)))

実施報告書

平成 20 年 3 月

農林水産省大臣官房国際部貿易関税チーム輸出促進室

(委託先：株式会社近鉄エクスプレス)

目次

はじめに	3
第1章 IPM2008 の概要	
1. 事業趣旨	4
2. 事前の抽出課題と事業の目標	4
3. 開催概要	
(1) 展示会プロフィール (2008年実績)	5
(2) 日本パビリオン概要	7
(3) 会期スケジュール	7
(4) 日本パビリオン出展者リスト	8
(5) 展示会場概要	8
第2章 IPM2008 における日本パビリオンの運営	
1. 事業全体の流れ	1 2
2. 運営内容の詳細	
(1) 出展者募集	1 2
(2) 出展品について	1 4
(3) 出展品の物流	1 5
(4) 日本パビリオンの設営	1 7
(5) 通訳・プロモーターの配置	2 2
(6) 集客イベント	2 2
(7) 来場者誘致やプロモーション	2 5
3. 会期中の様子 (写真による紹介)	2 7
第3章 成果と課題	
1. 出展者の評価 (会期1週間後の出展者総合アンケート)	2 8
2. 成果	3 2
3. 課題	3 2
4. 総評	3 2
※ 参考資料	3 3

はじめに

本報告書は、平成19年度農林水産物等海外販路創出・拡大事業により日本パビリオンの設置、運営を行った、ドイツのエッセン市における国際園芸見本市「IPM Essen 2008」への出展事業実施概要を取りまとめたものである。

農林水産省では、農林水産物等の輸出額を平成25年までに一兆円規模にするという政府目標の実現に向け、様々な輸出促進対策事業を実施している。農林水産物海外販路創出・拡大事業（海外展示・商談活動）は、我が国の農林水産物や食品の海外への販路を新たに創出、またはそれを拡大することを目的とし、輸出志向のある生産者、商社及び関連団体等に対し、海外における展示・商談活動の場を提供、支援するものである。

本事業においては、歴史ある花き文化を持ち、高い競争力が求められる市場であるという点を考慮しながら、ヨーロッパ全域からの集客が可能なIPM Essen 2008において、日本パビリオンを設置、出展12者への商談支援を行った。

ヨーロッパにおける花き市場は、世界の花きの流通ハブであるオランダを始め、鉢物の大消費国ドイツ、古くから盆栽、植木の輸入国として知られるイタリア、また成長著しい東欧やロシアマーケットなど、裾野の広い購買力によって支えられている。本事業を通して高品質な我が国の植木や切花を紹介できたことは、同市場における益々の需要拡大にむけて、日本のオリジナル品種や栽培技術に関心と理解を更に深めさせるきっかけとなったと言えるのではないかと。

本事業書が、今後ヨーロッパ市場への花き輸出を検討する関係各位にとって参考となれば幸いである。

なお、本事業は農林水産省が株式会社近鉄エクスプレスに委託して実施した。

平成20年3月

第1章 IPM Essen 2008 概要

1. 事業趣旨

近年、日本産花き園芸文化への関心の高まりや、新しい花材に対する継続的な需要、新興国の経済発展に伴う富裕層の増加等により、高品質な我が国の花き商材の輸出拡大のチャンスが増大している。このような中、輸出志向のある生産者等が西ヨーロッパ及び東欧、ロシアなど近隣諸国へ輸出するための足がかりとして、世界最大の花き園芸見本市である IPM Essen に日本政府パビリオンを設置し、出展者の商談成約に向けた活動を支援することで、同市場における販路の創出・拡大を図るとともに、広く日本産花き商材の紹介を行うことを本事業の趣旨とした。

2. 事前の抽出課題と事業目標

◆拡大のための課題と方針

IPM Essen は世界中のバイヤーが来場し、成約率が高いことで知られる世界最大規模の園芸見本市である。日本では Horti Fair (オランダのアムステルダム市) が有名だが、こちらは近年では取引が活発に行われる見本市というよりも、新しいアイテムの展示会的な位置づけに変化してきている。

■課題

- ・日本産花き類は数多くのオリジナル商材や高品質で注目されるが、国際標準価格から乖離 (おおむね 1.5 倍～3 倍程度)
- ・高単価商材は 1 アイテムを大量に売る性格のものではないため、現地バイヤーは 1 度の出荷に多数のアイテムを混載し、コスト削減のために必要な輸送ロットを確保することが求められる (生産者と密接に連携した組織が輸出に対するサポートを行う必要がある)。
- ・現地から引き合いの高いアイテムは職人技で作られる商材が多いため、生産者の栽培規模は海外に比べ零細。海外見本市に出展未経験者がほぼ 100% を占め、小間割りでの単独出展は容易ではない。また、外国語のコミュニケーションの問題もあり、コーディネーターの存在が必要。

■方針

- ・IPM Essen 出展では輸出可能性を秘めるアイテムの展示を優先させるため、小間割りを行わずに近年共同出展形式でも人気の高い、「ノンパーティション」形式のブース設計とした。
- ・真に輸出の可能性のある小規模生産者の出展のサポート体制を敷き、海外の花き見本市において我が国としては初となるナショナル・パビリオンを設置する事で、花材品

質の優位性をアピールする。

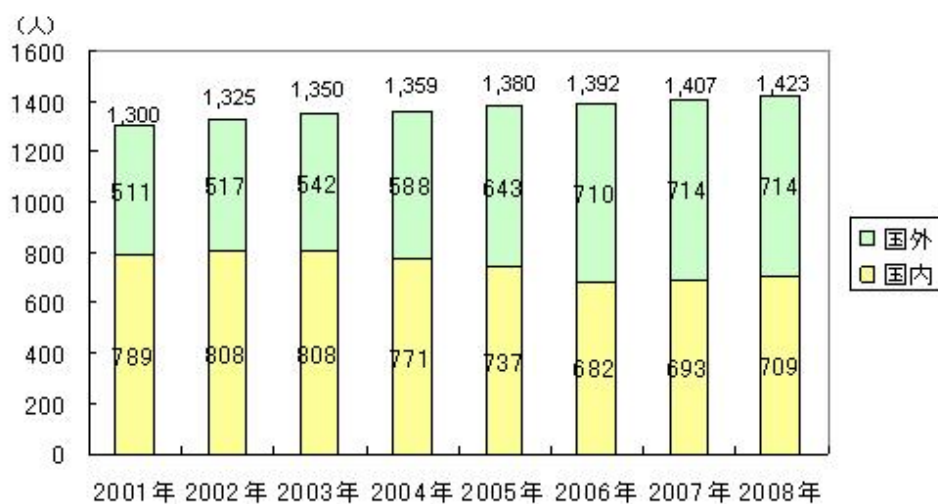
3. 開催概要

(1) 展示会プロフィール (2008年実績)

開催地	エッセン (ドイツ)
名称	IPM Essen 2008 (HP : http://www.ipm-messe.de)
会場	Essen Trade Fair Ground
会期	2008年1月24日(木)～1月27日(日) (会場時間: 9:00～18:00)
出展規模	総展示面積: 43,575 m ² 出展社数: 1,423 (46ヶ国)
主催	Messe Essen GmbH
出展品目	花き、園芸用品、花き美術品・工芸品、セールスプロモーション用品、等
来場者	約 60,000 人 (93ヶ国)
参加業種	花卉業界関係者

I : 出展者数 (経年)

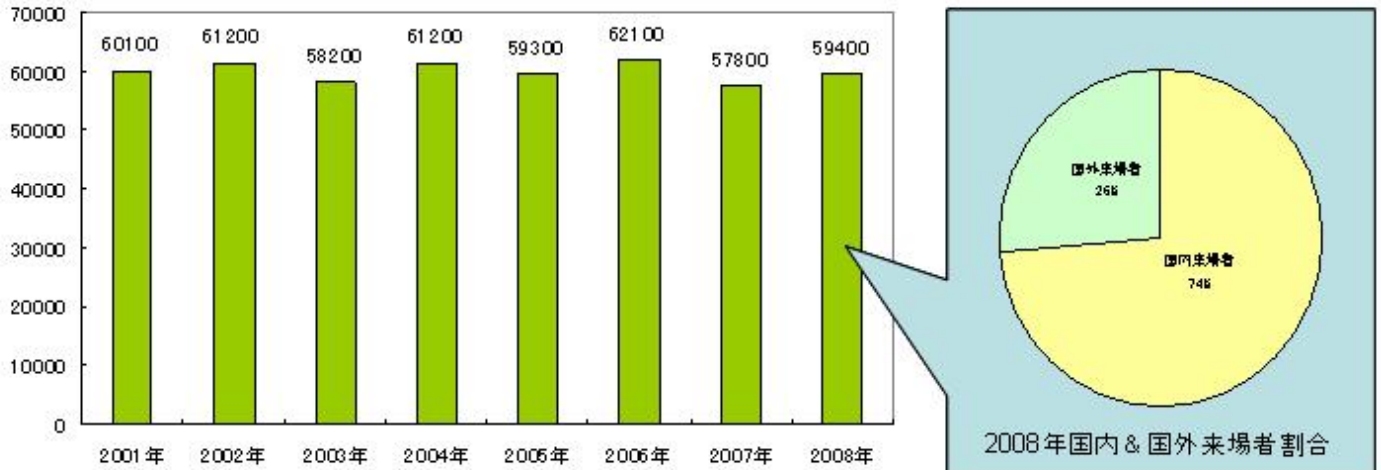
資料提供: MESSE ESSEN



出展者数は毎年増加。
特に、2006年より海外からの
出展者数が国内出展者数を
越している

II：来場者数

資料提供：MESSE ESSEN



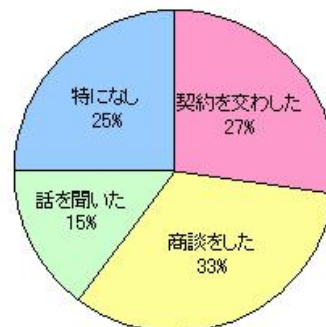
来場者は昨年に比べると上昇。うち、国外からの来場者は全体の26%
 海外来場者の多くは西ヨーロッパから。アジアからの来場者は対前年倍化。

a) 来場者の職業分野 (2008年)



来場者の45%が花卉分野
 22%機械、19%フラワーアレンジメントと続く。

b) 来場者の来場成果 (2008年)



来場者の6割が商談を交わしさらにそのうち
 来場者の27%が契約を交わしている。

- ・ 32%の来場者は購買決定権を持つ、または影響力を持ち、42%は購買に関する助言をする立場にある。
- ・ 来場目的の70%は花卉商材に興味を持つ来場者
- ・ 35%は今回初めて IPM Essen を訪れた来場者
- ・ 70%の来場者は今回の IPM Essen においてビジネスの成果を挙げられたとの回答をしている。

(2) 日本パビリオン概要

出展者数	12 者・団体
参加規模	100 m ² (10m × 10m)
会場内位置	ホール 2-108

(3) 会期スケジュール

日程	主な内容
1 月 19 日(土)	パビリオン施工開始
1 月 21 日 (月)	パビリオン基礎部分完成
1 月 22 日 (火)	切花、切葉、枝物類搬入。 切戻しと水上げ (バケツ処理)
1 月 23 日 (水)	植木搬入。 パビリオン装飾終了。 出展者集合、通訳・プロモーター顔合わせ
1 月 24 日 (木)	IPM Essen 2008 初日 (11:00~12:00、15:00~16:00 フラワーアレンジメントショー)
1 月 25 日(金)	IPM Essen 2008 二日目 (11:00~12:00、15:00~16:00 フラワーアレンジメントショー)
1 月 26 日(土)	IPM Essen 2008 三日目 (11:00~12:00、15:00~16:00 フラワーアレンジメントショー)
1 月 27 日(日)	IPM Essen 2008 四日目 (11:00~12:00、15:00~16:00 フラワーアレンジメントショー)
1 月 28 日(月)	パビリオン撤収作業

(4) 日本パビリオン出展者リスト

	出展者名	所在地	出展品
1	千葉県農林水産部	千葉	キンメツゲ、イヌツゲ、イヌマキ、カンツバキ サザンカ、ラカンマキ、キャラボク、タマツゲ
2	山川農園	千葉	千両「館山紅」
3	J A さがえ西村山	山形	日向水木、土佐水木、ドウダン、マンサク、 ライデン、柳、モクレン、コブシ、マユミ、 ムシカリ、サンシュ、レンギョウ
4	カネコ種苗(株)	群馬	トルコギキョウ (エコーレピンク、エコーレブルー)
5	長谷川農場	茨城	雪柳
6	(株)小森谷ナーセリー	千葉	アマリリス
7	高知新三里園芸組合	高知	グロリオサ (ミサトレッド)
8	JA 愛知みなみ農協	愛知	グロリオサ (ミサトレッド)
9	(株)ミヨシ	山梨	トルコギキョウ (ボレロ、グリーン、ブルーフラッシュ) デルフィニューム (スパーグランプルー)
10	住化農業資材(株)	大阪	トルコギキョウ (華雪3号、恋みちる、海ほのか、さくら彩彩) ブロードピンク
11	小林農園	新潟	チューリップ 10 品種
12	山本デンドロビウム園	岡山	デンドロビウム

(出展者敬称略)

(5) 展示会場概要

会場名 : Essen trade fair ground
 住所 : MESSE ESSEN GmbH
 Norbertstrasse D - 45131
 Essen Germany
 TEL : +49.(0)201.7244.0
 FAX : +49.(0)201.7244.248

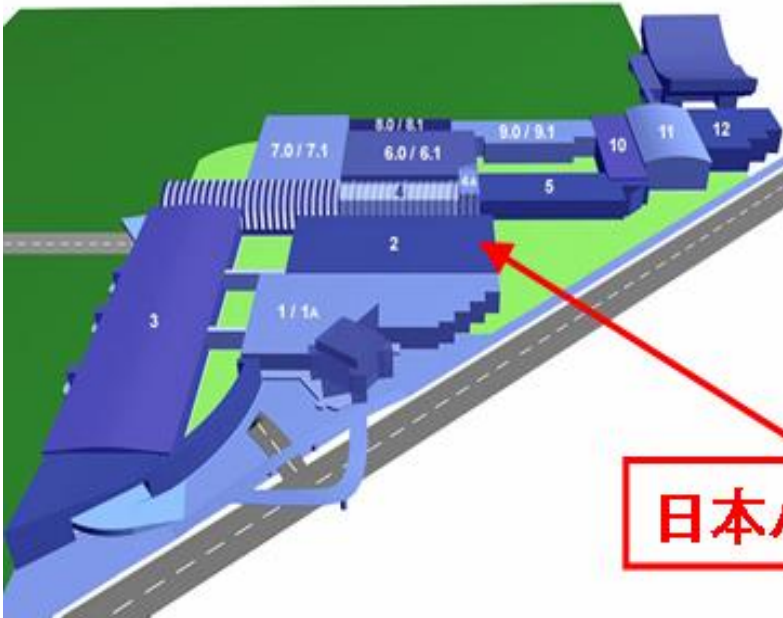


HP : <http://www.messe-essen.de/index.php?lang=en&content=0000000>



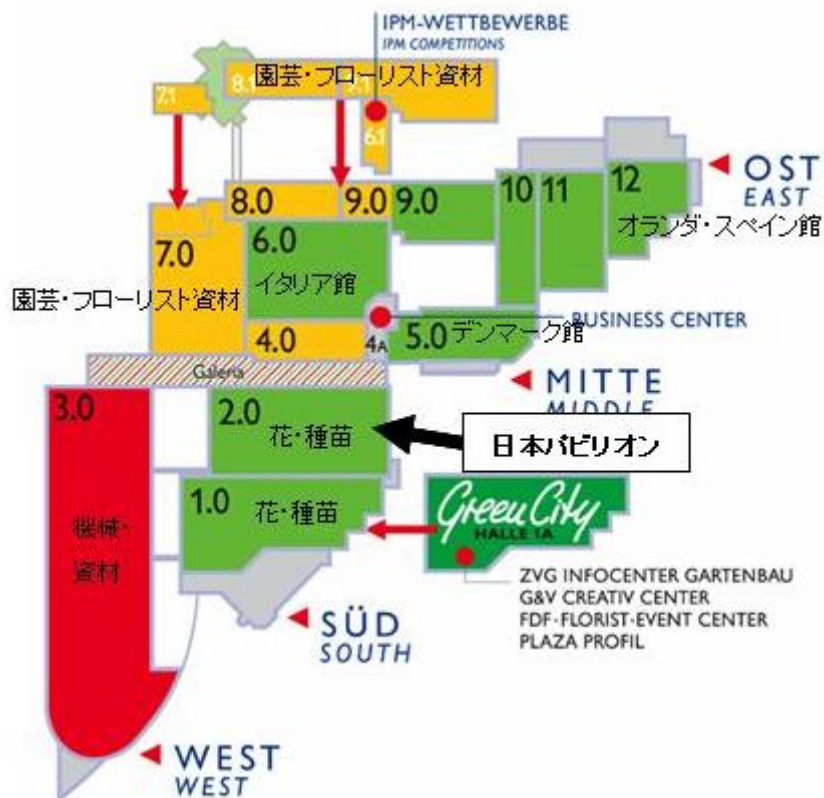
展示面積が11万平方メートルあり、18のホールが互いに直接繋がっている。特記すべきなのは、ホール3で、ヨーロッパで最も長い、柱のない外からの光が射すホールと、スター建築家マリオ・ベリーニ Mario Bellini によるギャラリーである。その他、合計2万平方メートルの屋外会場が4つあり、サンルームが3つある。

◆展示会場平面図

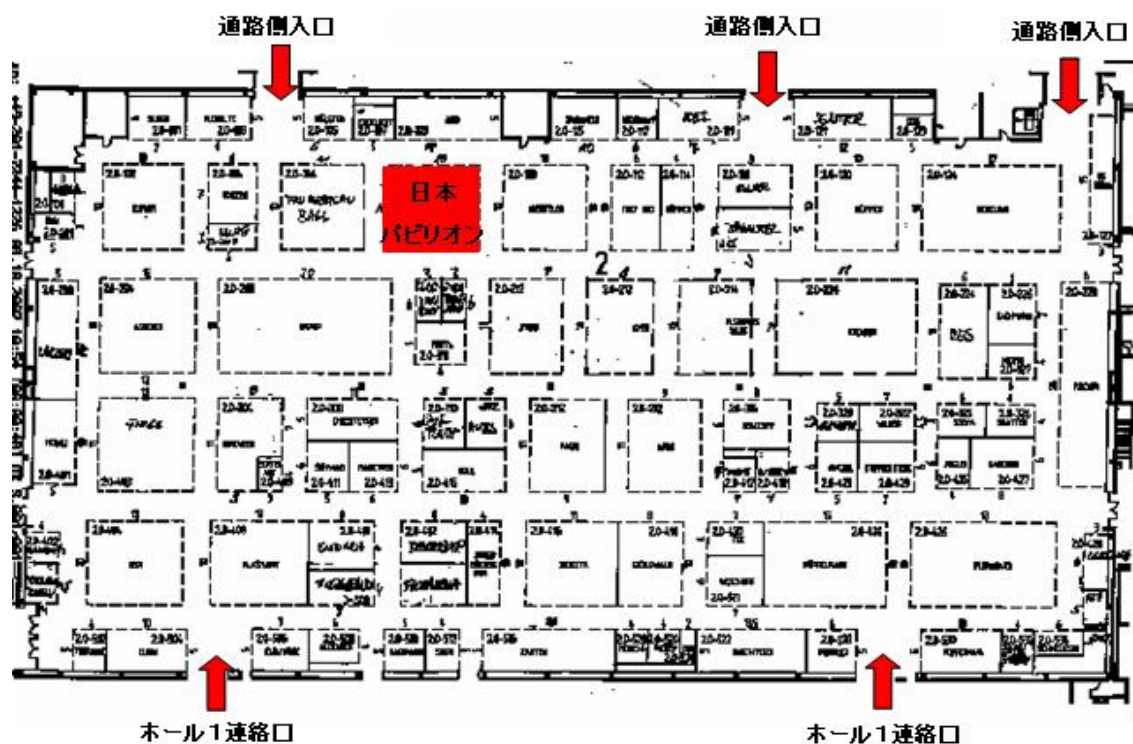


日本パビリオンはホール2

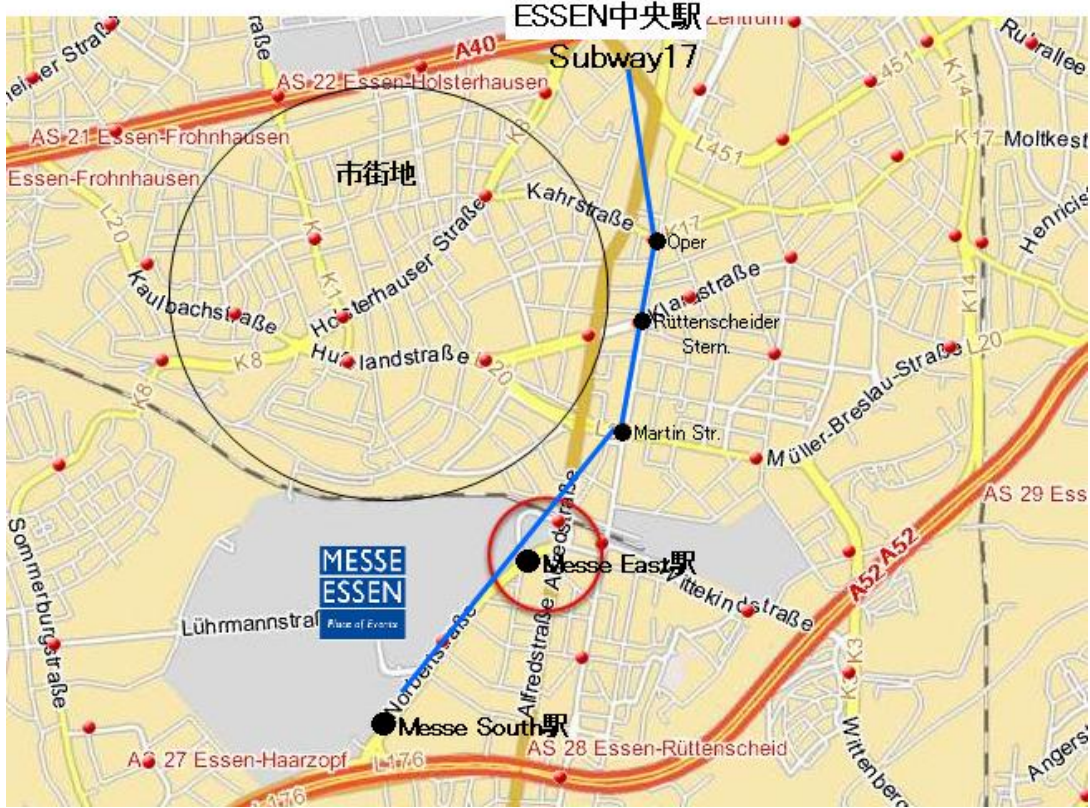
◆ 展示会場ホール全体図



◆ ホール2内日本パビリオン位置



◆展示会場周辺地図



Messe Essenまでは、Essen 中央駅から地下鉄 U17で5分、Messe Haus Ost と Messe Suedが最寄駅となる。

◆会場アクセスマップ

地下鉄が充実している
エッセン市内

